

平成30年度(30年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	居住環境の整備		電話番号	087-839-2555
	基本事業	空き家対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	空き家等対策事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

市民が安全で安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を促進するなど、総合的かつ計画的な空き家対策を実施する。

3年度概要
老朽危険空き家対策事業(除却支援48件、代執行、緊急安全措置)
空き家活用補助事業(空き家バンク改修10件程度)
空き家対策協議会、啓発チラシ作製その他事務費

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	市内に存在する空き家等及びその所有者等
意図(どのような状態にしたいか)	空き家の適切な管理を図ることにより、市民が安全で安心に暮らせるまちづくりの推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
空家に関する相談件数	件	180	292	331		250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	老朽危険空家除却支援件数	件	目標値	10	10	10		10
	実績値	13	19	31				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 老朽危険空き家の除却について、補助制度を活用し31件の除却を行った。							(達成度) 310.0%
	(目標達成度)							35点
成果指標	空家改修等支援件数	件	目標値	20	20	20		20
	実績値	4	5	5				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 空き家改修について、補助制度を活用し5件の改修を行った。							(達成度) 25.0%
	(目標達成度)							8点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]	35,772	42,493	59,871	47,132
(事業費)	[千円]	20,070	27,319	44,747	32,008
(職員人件費)	[千円]	15,702	15,174	15,124	15,124

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したが、特定空き家等を含め放置された空き家については、所有者の死後、相続が適切に行われず、関係人等の調査に困難を来している状況が少なくないことから、相続登記の促進が課題となっている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

空き家対策は、市民が安全で安心して暮らせる住環境整備を図る上で、喫緊の課題であるため、本事業を推進することが必要である。